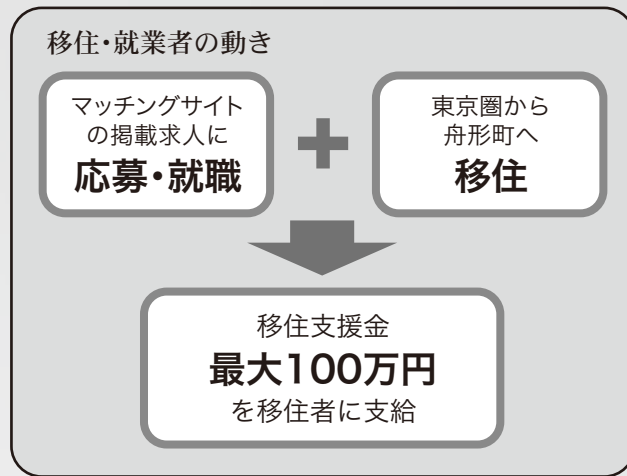




舟形町の移住支援

～「マッチングサイト」に求人登録して
移住希望者を応援～

Uターン求人情報を募集



◆マッチングサイトとは

移住支援金の支給対象求人を掲載するため、県が設置するサイトです。

東京圏から移住し、このサイトに掲載された、中小企業等の求人に応募・就業した方に対して、最大100万円の移住支援金を支給します。

◆掲載できる求人

次の要件を満たす必要があります。

- ・山形県外からのUターン求人を積極的に行う中小企業であること
- ・雇用保険の適用事業主であること
- ・風俗営業者でないこと
- ・暴力団等と関係がない法人であること
- ・週20時間以上の無期雇用の求人であること

◆申請方法

(公財)山形県企業振興公社
経営支援部にメールで申請

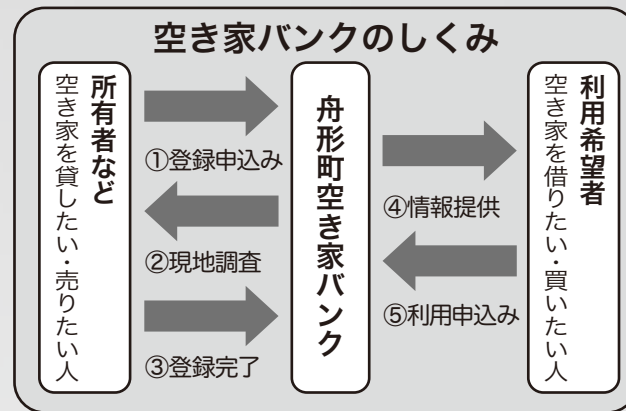


▼問い合わせ／

舟形町まちづくり課企画調整係 ☎(32)0104

～「空き家バンク」で移住希望者を支援～

「空き家」を有効活用しませんか



◆空き家バンクとは

町内の空き家の有効活用と定住促進を目的として、インターネットを通じて、広く空き家等の情報を公開する事業です。

◆利用できる方

- ・貸したい、売りたいと考える空き家の所有者の方
- ・借りたい、買いたいと考える方

町のホームページに掲載して情報を紹介しています。



舟形町若者向け 定住・移住住宅

▼構造／木造メゾネットタイプ5戸

▼使用料／月額40,000円(角部屋は3,000円加算)

▼申込み受付／12月～

- ▼入居者資格／・本町に転入する前に町外に2年以上居住し、本町に転入する見込みであること
・入居申込者及び同居しようとする者が、申込時において満45歳未満であること
・そのほかにも要件がありますので、詳しくは問い合わせください。

▼問い合わせ／

舟形町地域整備課農村整備係 ☎(32)0915



舟形町で未来を歩む



舟形町で未来を歩む

移住希望者に選ばれる町に

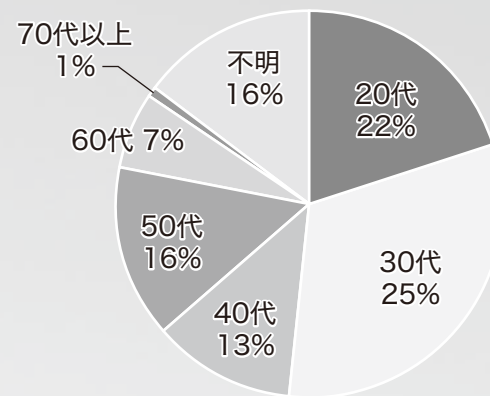
舟形町に限らず、全国的に首都圏への人口流出が課題となっています。一方で、近年首都圏に住む若い世代で地方への移住に関心を持つ人が増えてきています。
今回のテーマは移住。移住相談の実態や町での移住支援の取り組みについて紹介します。

移住相談が増えている

やまがたハッピーライフ情報センターによると、山形県への移住相談件数が、平成29年の611件から平成30年には889件と4割増えています。特に20～40代の若い夫婦や単身者の相談が増えているようです。
また、相談者からは、「仕事」と「住まい」に関する相談が特に多く寄せられています。
このような移住希望者のニーズ等に対応するため、町では移住支援に取り組んでいます。

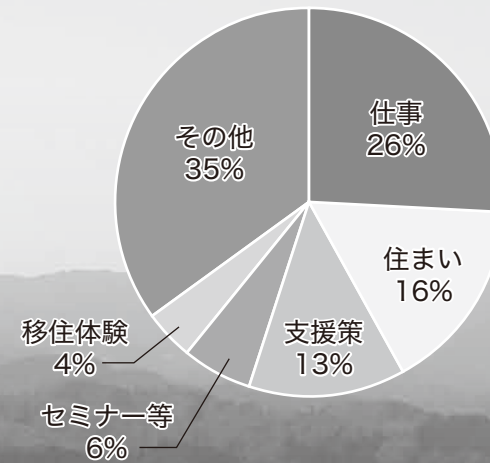
移住相談者の年代

〈20～40代が6割〉



移住相談者の相談内容

〈「仕事」と「住まい」が上位〉



やまがたハッピーライフ

情報センターとは

NPO法人ふるさと回帰センター※内にある山形県への移住交流を促す拠点です。移住コンシェルジュ2名が常駐し、首都圏から山形県への移住のPRや移住相談への対応などを行なっています。
※平成14年11月、全国の消費者団体、労働組合、農林漁業団体、経営団体、民間団体や有志などが一堂に集い、設立したNPO法人。

「移住セミナー」に

参加しています

町では、ふるさと回帰センターなどで開催される移住セミナーに参加し、移住者のニーズを把握し、町への移住についてPRを行なっています。

山形県 Uターン・イターンフェア開催

山形での暮らしや情報が盛りだくさんのフェアです。入場無料です。で、首都圏の知人や友人で移住を考えている方にぜひご紹介ください。



▼問い合わせ／

舟形町まちづくり課企画調整係
☎(32)0104